

角川春樹事務所創立10周年記念作品



これ、  
恋だと思おう。

……あいたくて、……あいたくて、

……あいたくて、……あいたくて、……あえない。

主演 原田知世

- 田中邦衛
- 由紀さおり
- 仙道教子
- 早瀬優香子
- 一色彩子
- 宮下順子
- 秋川リサ
- 平 幹二郎
- 岩崎加根子
- 林 隆三

澤井信一郎 監督作品

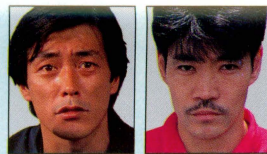
製作 ■ 角川春樹・市村一三  
 原作 ■ 赤川次郎(角川文庫版)  
 脚本 ■ 那須真知子  
 プロデューサー ■ 黒澤 満  
 伊藤亮樹

撮影 ■ 仙元誠三  
 美術 ■ 桑名忠之  
 照明 ■ 渡辺三雄  
 録音 ■ 橋本文雄  
 編集 ■ 西東清明  
 主題歌 ■ 原田知世(角川レコード/CBS・ソニー)  
 配給 ■ 東宝株式会社・角川春樹事務所

少女は女になった。男は少年になった。

# 早春物語

志穂美悦子  
柄本 明  
岩城 滉一  
かたせ梨乃  
清水 昭博  
蟹江 敬三  
室田日出男  
月丘 夢路  
山村 聡  
北大路欣也



# 一代目は ケリリスチャ

原作・脚本 ■ つかこうへい(角川文庫版) 監督 ■ 井筒和幸

製作 ■ 角川春樹/市村一三 製作協力 ■ 東映京都撮影所  
 プロデューサー ■ 佐藤雅夫・齊藤一重・豊島 稔・菅原比呂志 撮影 ■ 北坂 清 録音 ■ 平井清重 照明 ■ 安藤清人 美術 ■ 佐野義和 編集 ■ 玉木 晴夫



男は女に、女は男に、  
恋は恋を、知

お母さん、お父さん、  
さかしてスエス様?!



角川春樹事務所創立10周年記念作品  
 配給 ■ 東宝株式会社・角川春樹事務所



ベテランの俳優陣と最高のスタッフが、

# 知世の新しい魅力を

惜しみなく引きだした。

「時をかける少女」で鮮烈にスクリーン・デビューした原田知世の主演4作目である。今回、知世の演じる瞳は、性への憧れや期待を持つ女子高生。今まで隠されてきた少女から大人へ一歩踏み出した女としての知世が大きくクローズアップされている。

早春の鎌倉を舞台に「Wの悲劇」で各方面から、その演出力を絶賛された澤井信一郎監督が、揺れ動く少女の心の機微を知世に託して映像化した意欲作。瞳が思いを寄せる梶川役に林隆三。父役に田中邦衛の両ベテランが脇をかため、「家族ゲーム」やTVドラマ等で女優としても高い評価を受ける由紀さおりが継母として出演。瞳の同級生・麻子には、出演作品の度その演技力が注目される仙道敦子、高校生になって心機一転、明るく取り組んでいる。澤井監督以下「Wの悲劇」のスタッフがガッチリ手を組んで製作にかかっている。

## 大人と子供、

### 男と女の間で揺れる、

# 17才。



沖野瞳、鎌倉北高校・写真部所属の17才。春だというのに瞳の気持ちは沈みがちだ。父とふたり暮りだったところへもつと父の再婚相手嫁が嫁って来るからだろうか……。仲良しの同級生・麻子が、ひと足先に恋を知ってしまったからだろうか……。

# 涙と笑いと大活劇の

## エンターテイメントここに誕生!

聖なる教会に仕える清純なクリスチャンがひよんなことからヤクザの二代目に。奇想天外、抱腹絶倒のストーリーがいまはじまる。

「二代目はクリスチャン」は、「蒲田行進曲」で日本映画界の話題を独占したつかこうへい、原作のみならず、初めて映画の脚本をも書き下した、全編、涙と笑いとアクションのエンターテイメントの要素をすべてつめこんだ娯楽映画の決定盤である。監督は「ガキ帝国」「みゆき」「晴れ、ときどき殺人」と、様々なジャンルでハワフルな演出を見せた新進気鋭の井筒和幸。ヒロイン・シスター今日子には、アクション女優から演技派女優として新境地を見せる志穂美悦子が久々の本格映画主演。この作品でさらに女優としての資質を高めることだろう。

また彼女をめぐる恋仇として微妙な三角関係を演じる岩城晃一、柄本明。そしてシスター今日子と宿命的なかわりを持つ英二役を北大路欣也。個性豊かな役者陣による異色なキャストインクも魅力である。

## 港町、神戸でおりなす

### 波瀾万丈なラブストーリー

六甲山中腹にある聖サフラン教会のシスター今日子。その天使の様な笑顔と神だけをみつめる澄んだ瞳は周囲の全ての人に安らぎを与えている。

シスター今日子に惚れているのが、女たらしのタメヤクザ・天竜晴彦。本来ならば業界の大老舗天竜組二代目というエリートコースをすぐさま継ぐべきところ、恋は盲目、彼女の気をひくために毎日教会のブタ小屋の掃除に余念がない。それどころかついに、自分の意見を無視して全員クリスチャンの洗礼を受けさせてしまう困ったお人。腹巻きの中にドス、首に十字架。子分達はたまったものではない。ヤクザ仲間からは馬鹿にされ、右の頬を打たれば左の頬を出すという教えを守りながらコテンパンにやられる始末。

写真部のテーマは「春一来たりて去る」。カメラをかかえて鎌倉の春を探し求める瞳。やっとみつけたアングルの中に、邪魔な車がある。その車の持ち主が梶川だった。42才で独身、いわゆる中年のオジさんだ。別れたあともなんとなく気になる瞳。

デートに向う麻子への対抗上、瞳は梶川のオフィスをたずねて彼がバリバリの商社マンだったことを知る。そして彼に誘われるまま出かけたパーティーで瞳はちよっぴり大人の気分を味わった。



# 早春物語

背のびから始まった、大人の恋。

数日後、母の命日に遺品を取り出し思い出と再会していた時、瞳は一枚の写真にくぎ付けになった。若き母達と一緒に写っている男が、梶川ではないか。母の友人から聞いた話は、瞳にとってショッキングだった。彼は仕事をとり、結局母を捨てたというのだ。



一方そんな晴彦達の姿をイライラして見ているのが、刑事・神代。こちらもまた始末が悪い。晴彦と幼なじみで、恋仇おまけに実家が天台宗のお寺ときているシスター今日子と結婚したいが、願いかなわす宗教の厚い壁に阻まれてしまう。当のシスター今日子は、命の恩人英二に秘かな恋心を抱いている。

この三人の繰り広げる恋愛騒動が、ある事件をきっかけに急転換。念願かない、ついに射止めた今日子との結婚式で非情にも晴彦は情婦百合のうらみをかいつけなく命を落してしまふ。アア主よ、神が与えたこの試練……二代目はシスター今日子!!

そして追い打ちをかけるように、代々天竜組が仕切る神戸港まつりの権利強奪の為、業界のメジャーを秘かにたくらむニューウェーブ黒岩会。天竜組を潰しにかかる。次々と倒れてゆく愛すべき子分達、そして、シスターと共に明るく生きようとすの子供達までも!

爆破された教会跡にホーンと立ちつくすシスター今日子、いや、二代目天竜今日子。怒りに心が震えながら、ついに静かにドスを握る。「私、もう頭にきました!」運命のいたずらか、雨が降りしきる橋のたもとで向かい合うのは、あの英二。そして、ついに黒岩会に猛然と突っ込んでいく。



# 二代目はクリスチャン

## 9月14日(土) 当劇場にてロードショー公開!

国電中央口・三越ウラ  
新宿武蔵野館 (354) 5670

てめえら!!  
十字を切って悔い改めやがれ。でねえと二人残らず叩き斬るぜ!!

角川書店 創立10周年 樹事務所 年記念作品